

きずな

2009年 6月25日

NO 750

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel 62-6200)

井原市議会6月定例会で16日に日本共産党の森本ふみお議員が8項目質問しました。森本議員の質問と執行部の答弁の概要は次のとおりです。

森本ふみお議員の質問の概要

◆市内全幼稚園で早期に給食の実施を

昨年9月議会で、「市内全幼稚園で給食の実施を」との提言をしました。その時教育長は「井原市就学前教育検討委員会の答申をいただき、一定の方向性を出していただいたら、その方向性に従い検討して行きたい」と言われました。

3月に検討委員会から答申があり、この中で、幼稚園での給食実施について方向が示されました。

この答申を受け、市内全幼稚園で早期に給食を実施すべきだと思います。このことについてどう考えておられますか。

◆地区公民館に公民館主事（専従職員）を早期に配置を

昨年12月議会で、「地区公民館に常勤職員いわゆる公民館主事の配置を」と提言いたしました。

その時教育長は「10月に井原市公民館組織検討委員会を立ち上げ、公民館組織の見直しと、職員体制の整備など、今後の公民館組織のあり方について諮問した。その答申を踏まえて検討したい」と言われました。

検討委員会の答申で地区公民館の職員体制の今後のあり方などについて、検討委員会の強い意思が示されました。

この答申を受けその後どう検討されていますか。

◆中学校卒業まで医療費を無料に

昨年9月議会で「中学校卒業まで医療費を無料に」と提言いたしました。その後、市議選前や4月の市議選中も、多くの市民から、是非、中学卒業まで無料にして欲しいという声を聞きました。

県内では現在7市町村で中学校卒業まで無料にしています。また、新見市では、4月に遡って中学校卒業まで無料にすること決断されたようです。

真庭市でも、本年10月から、中学校卒業まで無料にする方向のようです。

このように、昨年9月にこのことを提言した以降でも、中学校卒業まで医療費を無料にする県内の自治体も増え、住民にとって良い方向で大きく動いている状況です。病気や怪我などをした子どもや保護者が、治療費の心配もなく、いつでも安心して病院にかかれるよう、また、子育て支援をより一層強化するという意味でも、本市でも是非早期に、中学校卒業まで医療費を無料にすべきと思います。

2面左上へつづく

左の質問に対する執行部答弁の概要

答申にあるように、幼稚園の給食について、様々な課題はありますが、来年度より給食実施に向け、可能なところから具体的な検討を進めている。

現在、給食センターを中心にして、実施が可能な園として、どの園が考えられるか検討している。

これから幼稚園教育の協議会を設置して、給食も含め、答申に出ております内容について、具体的に検討をしていく予定にしている。

基本的には、この答申を受けて、配置に向けて具体的な検討を進めて行きたい。

公民館の役割が大変拡大している中で、開かれた公民館としての役割を充分果たしていかなければならないという面と、館長の職務が、非常に増えており、館長の活動の負担を少しでも軽減していくために、配置をするということを考えている。

これまで、芳井、美星、中央公民館長、生涯学習課内部のメンバーで検討会議を持った。

今後は、教育委員会の各課に関わりを持つので、各課長等を中心にした公民館組織の検討会議をもって、10月末を目途に具体的に検討していきたい。



平成19年度から小学校3年終了までに拡大したことで、市の負担額は約8,400万円となっている。

制度の拡充ということで、中学校卒業までになると、新たに6,300万円の財政負担を生じることとなり、現段階では困難と考えている。

今後、県の動向、他市の動向を注視しながら、拡大については検討していく必要があるかと考えています。

2面右上へつづく

1面左下からつづく

◆井原市ふれあいセンターへ、エレベーターか自動昇降機の設置を

井原市ふれあいセンターでは、建物の構造上、2階での会議や催し物がかなりあります。地域の高齢化が進み、2階へ上がることが困難な参加者が増えています。

そこで、エレベーターか自動昇降機の設置をしてはどうですか。

1面右下からつづく

高齢化が進む中、社会教育施設についても、バリアフリー化への対応が必要であることは充分認識している。

階段昇降機は、現在、井原公民館に設置されていますが「怖い」という声があり、ほとんど利用がない。自動昇降機の設置は困難。

エレベーターの設置については、スペースの問題、現在開催している講座への影響、利用状況等を勘案して、検討してみたい。

◆西江原公民館の夜間照明と駐車場の舗装を

西江原公民館は、21時30分に自動で全館消灯になり、玄関の出入り口が真っ暗で、鍵をかけるのに苦労し大変不便です。

また、駐車場は未舗装で、駐車するのも区分がなく、無造作に駐車するので無駄が多い状況です。

そこで、消灯になっても、玄関あたりを照らす照明器具を設置し、駐車場は全面舗装し、白線を引き、車が整然と駐車できるようにしては。

夜間の出入り口の照明については、公民館利用は原則午後9時までだが、現在は午後9時30分までに延長している。利用される場合はできるだけ時間を守っていただきたい。感知式の灯りの設置については、公民館長、管理協議運営委員会のほうと協議をして、付ける必要があるんだということになれば検討する。

駐車場（約2,300㎡：区画線を引けば80台余り駐車可能）舗装については、前向きに検討したい。

◆粗大ごみ等、不法投棄対策強化などのため、監視員の採用・配置を

いよいよ来月からごみの有料化が始まります。粗大ごみはもちろん、これ以外でも、市内一円で不法投棄がふえる可能性が考えられます。

本市では、地域美化推進委員制度があり、現在、ボランティアでパトロールなどをお願いし、不法投棄を監視していただいています。

市としても、これらの方々に頼るだけでなく、矢掛町のように、独自に監視員を採用し、ごみ対策に専念してもらってはどうか。

7月からの家庭ごみ有料化に伴い、1月から4月に自治連合会単位に行った「家庭ごみ減量化・有料化説明会」で、市民の方から、家庭ごみ有料化に伴い不法投棄の増加を懸念する意見も賜っていることから、その防止に向け、専門の監視員を配置することについて、できるだけ早い時期に配置できるよう、前向きに検討している。



◆芳井支所、美星支所の機能回復と強化を

合併して丸4年が経過し、芳井支所と美星支所は、この間、大幅な人員削減と課・係の削減が行われ、大変な住民サービスの低下をきたしています。

両支所の機能回復と強化をしなければ、ますますサービス低下をきたすようになります。そうすると関係住民は行政不信に陥ります。

直ちに実効ある手を打つべきだと考えます。

支所の機能強化について、支所への職員の増員は大変難しいと考えている。業務の効率性などの点で多くの課題が発生することとなるので、その対応は大変難しいものと考えている。

現在においても、市民サービスに直結した部門でのサービスの低下を招くことのないよう、所要の人員を配置している。

今後も市民の方々にご不便やお手間をお掛けすることのないよう、行政サービスの維持・向上に努めていきたい。

◆市内循環バスの利用が困難な高齢者に何らかの手立てを

井原市民病院をはじめ、市内の病院に通院している方で、市内循環バスの利用が困難な地域におられる方は、いきおいタクシーを利用せざるを得ないのが実情です。

そうすると多額の出費になります。中には「仕方なく無理やり通院回数を減らすしかない」と、切実な声が寄せられます。こういう方々に、市として何らかの手立てを講じてはどうですか。

本年度「福祉基金助成事業」に付き、給付実績、福祉ニーズ或いは社会経済情勢を見極めながら、真に支援が必要な方々の経済的負担がいくらかでも軽減できるよう見直しを行う。市内循環バスのルートから離れた公共交通空白地が市内各所に点在しているので、これらの地区にお住まいで自家用車等を持たない人たちの移動手段の確保について、早急に対策を講じなければと痛感している。

今後は、より細やかな対応が可能な移動手段の導入も視野に入れた新たな公共交通体系の構築に向けて取り組んで行き、来年度から実施したい。